

院外処方に関する Q&A

Q1. プロトコル C-4 について、アルロイド G 内用液の用法で、「空腹時」から「食前」、「食間」への用法変更は可能か？

A1. レセプト上問題なければ可。※プロトコルに追記しています。

Q2. プロトコル C-4 について、漢方薬やナウゼリン錠、プリンペラン錠等の用法は必ず訂正しなければならないのか？

A2. プロトコルは適応を強制するものではない。患者様の服薬状況等をみて、変更等が必要と判断した場合にはプロトコルの適応を検討頂きたい。

Q3. 鎮咳薬など供給の不安定な医薬品について、疑義の際に代替品の提案自体が困難な場合がある。このような場合、日数変更などの提案を行ってもよいのか？

A3. 鎮咳薬・解熱鎮痛薬・去痰薬など、供給が滞っている医薬品が多数ある。院内でも、日数変更や削除などを処方医師に協力いただきながら運用しているのが現状である。日々流通状況は変動しているため、状況に応じた日数の変更や削除等の対応を検討するためご協力頂きたい。

Q4. 規格変更について特に注意することは？

A4. ワーファリン錠などの複数規格が存在する薬剤について、規格変更により錠数・外観の変化がある場合は、患者様のアドヒアランスを十分把握した上で変更が可能と判断した場合に実施頂く。また、規格により適応の異なる薬剤も存在するため、変更の際には充分注意頂きたい。

Q5. プロトコル A-1 について、漢方薬のメーカー変更は可能か？

A5. 含有分量が異なる場合があるため、現状では不可。今後、プロトコルによる対応を検討予定。

Q6. プロトコル C-1 について、患者様のご希望により糖尿病薬や抗凝固薬などを一包化することは可能か？

A6. 当院では検査や手術による休薬や指示変更が多いため、糖尿病薬・抗凝固薬・ステロイド剤・下剤・眠剤については原則一包化対応をしていない。アドヒアランス向上のためやむを得ないなど一包化が望ましいと判断した場合には検討頂きたい。

Q7. 後発医薬品の変更はトレーシングレポートのどこに記載すればよいのか？

A7. A-1 で対応可能(⑤詳細の記載は不要)。

Q8. プロトコル A-2 湿布⇔テープなどの変更について、分量が変わる場合は変更可能か(例:モーラス®テープ 40mg⇔モーラス®パップ XR120mg)？

A8. 含有分量が異なる場合は変更不可。

Q9. プロトコル A-1 について、先発医薬品⇔バイオ後続品の変更は可能か？

A9. バイオ後続品は厳密には同一成分とは異なるため、現状は変更不可。

Q10. 使用済みインスリン針などの廃棄については？

A10. 使用済み SMBG 針, インスリン針については当院に持参いただくよう患者様にご説明する方針としている。

Q11. 一包化指示は処方せんのどこに記載されるか？

A11. 処方せん下部の備考欄に記載される。

Q12. 新たなプロトコルの追加や更新がなされた場合は？

A12. HP 上で随時更新予定。また, 院外薬局様向け定期勉強会にて随時周知する予定。

Q13. プロトコル締結していない同一グループの店舗でもプロトコルは適応可能か？

A13. 店舗ごとの合意締結が必要なため不可。定期開催される院外薬局様向け勉強会にて合意締結いただきたい。

Q14. 居宅療養管理指導料・在宅患者訪問薬剤管理指導料についての対応は？

A14. 現状では特別な対応はしていない。

2024年1月25日作成